

クサギカメムシ (学名: *Halyomorpha halys*)

[カメムシ目 カメムシ科]



カメムシの仲間は日本で約90種類ほどいますが、今の時期よく見られるのはクサギカメムシという種類です。

成虫で越冬するために寒さをしのげる場所を探して民家近くに現れます。くさいにおいを放つので、嫌いな人が多いと思います。雪深い地方には、カメムシが多い年は積雪も多いといった俗説があるようです。しかし、去年はカメムシの数が少なかったのに大変な大雪でした。今年はカメムシの数が多そうですが、積雪量はどのようになるのでしょうか。

また、只見町ではクサムシと呼ばれ、捕まえる時に「じょろーむし、じょろーむし」と言うと臭くなくなると言われています。今年はカメムシの数が多いためこのかけ声を実際に試す機会は多くなりそうです。



・クサギカメムシのほかにもツノカメムシの仲間が見られます。胸部の両側が突出していたり(左)、お尻に突起があったりします(右)。鮮やかな色をしていますが、死ぬと褐色に変わります

企画展示

「昔の写真から見た只見町」

日 時：12月14日(月) まで開催中
明治末期から昭和まで、只見町の人々の暮らしぶりを写真を通して知ることができる企画展となっています。

詳しくは、
只見町プラセンター
までお問い合わせ
ください

秋の料理教室

「只見町の食材を食べる」

日 時：11月23日(月・祝) 午前10時～午後1時 ※事前申し込みが必要です
塩干しワラビの創作レシピ、兵糧丸など只見町の食材を使った料理を作ります。

ユネスコエコパーク登録一周年記念事業

檜枝岐歌舞伎只見町公演：11月14日(土) 午後1時30分～3時30分
場 所：只見小学校体育館